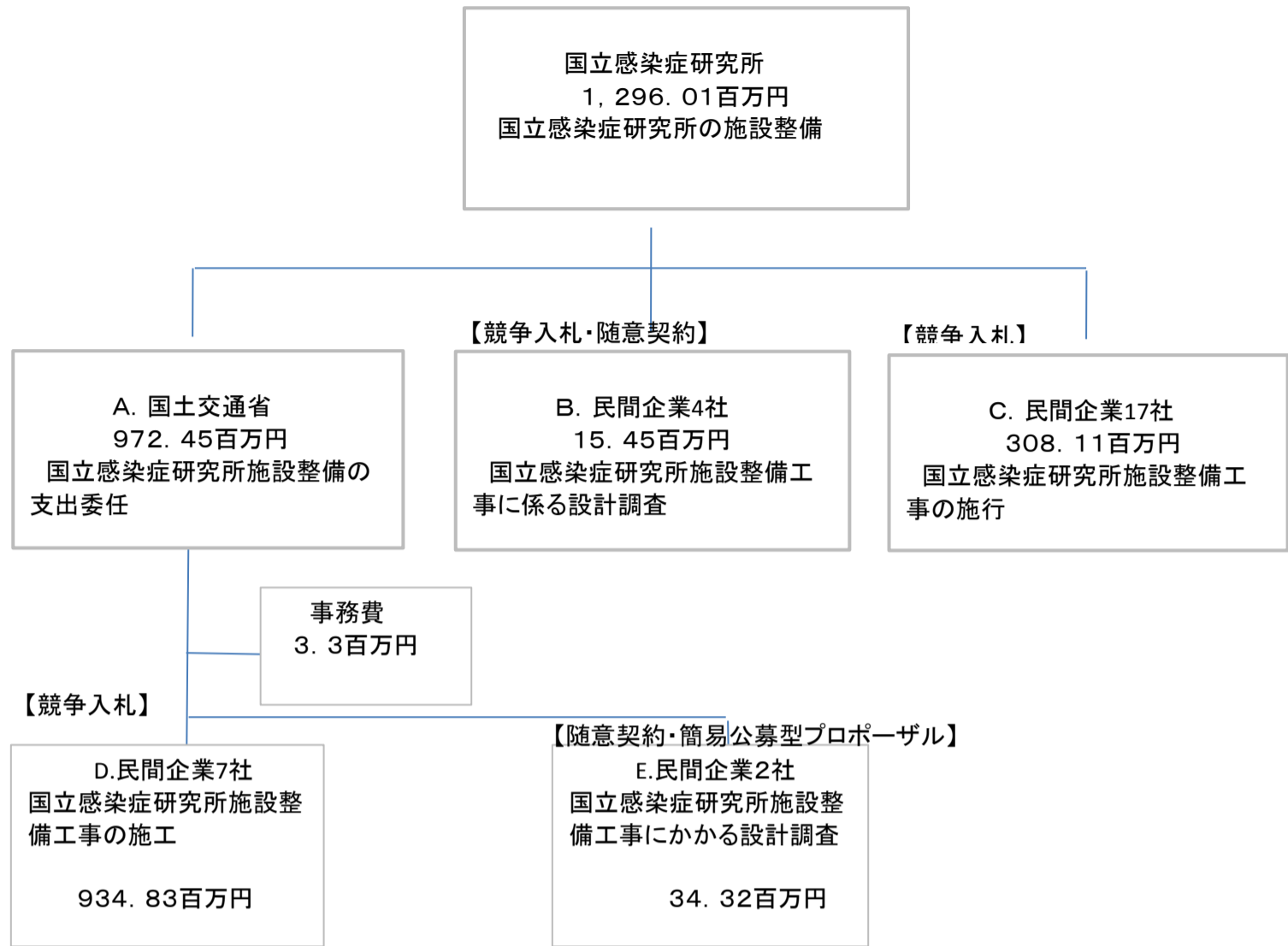


平成23年行政事業レビューシート (厚生労働省)

事業名	国立感染症研究所施設整備経費	担当部局庁	国立感染症研究所	作成責任者			
事業開始・終了(予定)年度	平成9年度	担当課室	総務部会計課	課長 星野 真			
会計区分	一般会計	施策名	—				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	—	関係する計画、通知等	—				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国立感染症研究所において、耐用年数が過ぎた建物及び老朽化が著しい機器を順次更新していくとともに、地球温暖化対策を推進するための設備機器の更新等を行うことを目的とする。						
事業概要 (5行程度以内。別添可)	戸山庁舎、村山庁舎及びハンセン病研究センターの主な建物は、建築以来15年以上が経過し、施設整備機器の経年劣化が著しい。このため、耐用年数が過ぎた機器類及び老朽化が著しい機器を順次更新していく必要がある。併せて、地球温暖化対策を推進するための設備機器の更新を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
	予算の状況	当初予算	1454	3214	244	/	53
		補正予算	288	/	/	/	/
		繰越し等	2838	470	1511	1010	/
		計	4580	3684	1755	/	53
	執行額	3993	951	1296	1010	/	
執行率(%)	87%	26%	74%	/	/		
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標	/	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	設備の整備のための経費であり、定量的な指標は示せない。	成果実績	—	—	—	—	—
		達成度	%	—	—	—	/
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標	/	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	設備の整備のための経費であり、定量的な指標は示せない。	活動実績(当初見込み)	—	—	—	—	—
					()	()	
単位当たりコスト	— (円/)	算出根拠		—			
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	工事費	/	53	【東日本大震災復興関連事業】戸山庁舎擁壁改修工事 52,500千円			
	計	/	53				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・状況・予算の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目・	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	-	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	-	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	-	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	-	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>契約については、雑工事を除き、全て一般競争入札にて行い、また事業計画においても各施設の使用状況を考慮し、計画をたてている。ただし、平成22年末においては、当初の事業計画に想定していなかった、新型インフルエンザの流行があったことから、研究室への立ち入りが制限されたことに伴い23年度への繰越が発生した。今後は、これまでの経験を考慮し、適正な契約方法、及び事業計画を検討していく。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
現状通り	<p>ここ数年特殊事情により、計画の見直しを余儀なくされたため多額の不用が生じているが、事業の必要性及び執行の観点からは概ね妥当であり、引き続き効率的な執行に努めること。</p>		
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



資金の流れ
(資金の受け
取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

A.国土交通省			E.株山田総合設計		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
外部委託	国土交通省	972	雑役務	庁舎外設計業務	23
計		972	計		23
B.株安井建築設計事務所			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務	工事管理業務	11			
計		11	計		0
C.株山武			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	戸山庁舎設備改修工事	34			
計		34	計		0
D.株日立プラントテクノロジー			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	庁舎設備改修工事	508			
計		508	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	国土交通省	国立感染症研究所施設設備工事の施工委任業務	972.45		
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)安井建築設計事務所	戸山庁舎機械設備改修工事管理業務	10.86	2	89.06
2	日和エンジニアリング株式会社	戸山庁舎防災システム更新その他工事設計業務及び工事監理業務	3.15	2	47.71
3	C・C設計事務所 小野寺 岩	国立感染症研究所戸山庁舎フリーザー室改修工事基本設計	1	随意契約	
4	ソレキア株式会社	電話設備及音声ネットワーク改修工事関連調査及機能証明業務	0.44	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)山武	戸山庁舎設備改修工事	163.42	1	75.89
2	富士テレコム(株)	戸山庁舎電話交換及び音声ネットワーク設備改修工事	102.61	2	94.25
3	(株)小原建設	戸山庁舎窓省エネ改修工事	9.03	2	98.4
4	(株)ハタノシステム	戸山庁舎非常用自家発電設備冷却水配管改修工事	6.72	1	89.05
5	(株)秀和建设	国立感染症研究所戸山庁舎研究棟屋上防水改修工事	6.22	2	64.55
6	(株)日立プラントテクノロジー	戸山庁舎実験室設備改修工事	4.33	随意契約	
7	東京冷機工業(株)	戸山庁舎実験室設備改修工事	3.46	随意契約	
8	(株)精研	戸山庁舎実験室設備改修工事	2.97	随意契約	
9	日立プラント建設サービス(株)	戸山庁舎実験室設備改修工事	2.66	1	85.33
10	(株)東電通	戸山庁舎実験室設備改修工事	0.99	随意契約	

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)日立プラントテクノロジー	戸山庁舎機械設備改修その他工事	507.57	1	97.09
2	(株)精研	村山庁舎機械設備改修その他工事	149.1	5	93.84
3	(株)さとうベネック	村山庁舎第1研究棟他建築改修その他工事	107.73	16	87.75
4	(株)清水組	村山庁舎10号棟(仮称)建築工事	70.7	5	91.13
5	(株)東電通	村山庁舎10号棟(仮称)電気設備工事	67.83	6	92.81
6	経塚工業(株)	村山庁舎10号棟(仮称)機械設備工事	29.8	1	78.93
7	横浜エレベータ(株)	村山庁舎10号棟(仮称)エレベータ設備工事	2.1	2	82.44
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)山田総合設計	国立感染症研究所村山庁舎10号棟(仮称)外設計業務	22.77	簡易公募型	99.65
2	(株)安井建築設計事務所	国立感染症研究所戸山庁舎工事管理業務	11.55	随意契約	
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					